

Vol.119 「制服のない小学校（2）」

公立小学校は入学金や授業料、教科書代などは無料ですが、学校給食費や修学旅行・遠足・見学費、PTA会費などは必要となるため、費用が全くかからないという訳ではありません。これらの学校教育費の他、意外と費用がかかっているものとして、『子どもが学校に着て行く服代』があります。今回は、小学生の子どもを持つ親を対象に、制服のない小学校の服装事情について調査しました。

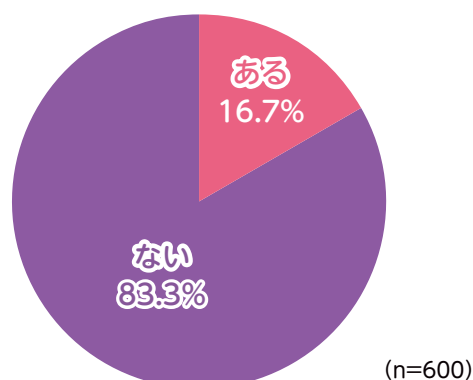


調査概要

調査対象：全国の小学生の子どもを持つ親600人
調査方法：インターネットリサーチ
実施時期：2015年5月

Q 1. 小学校の制服の有無

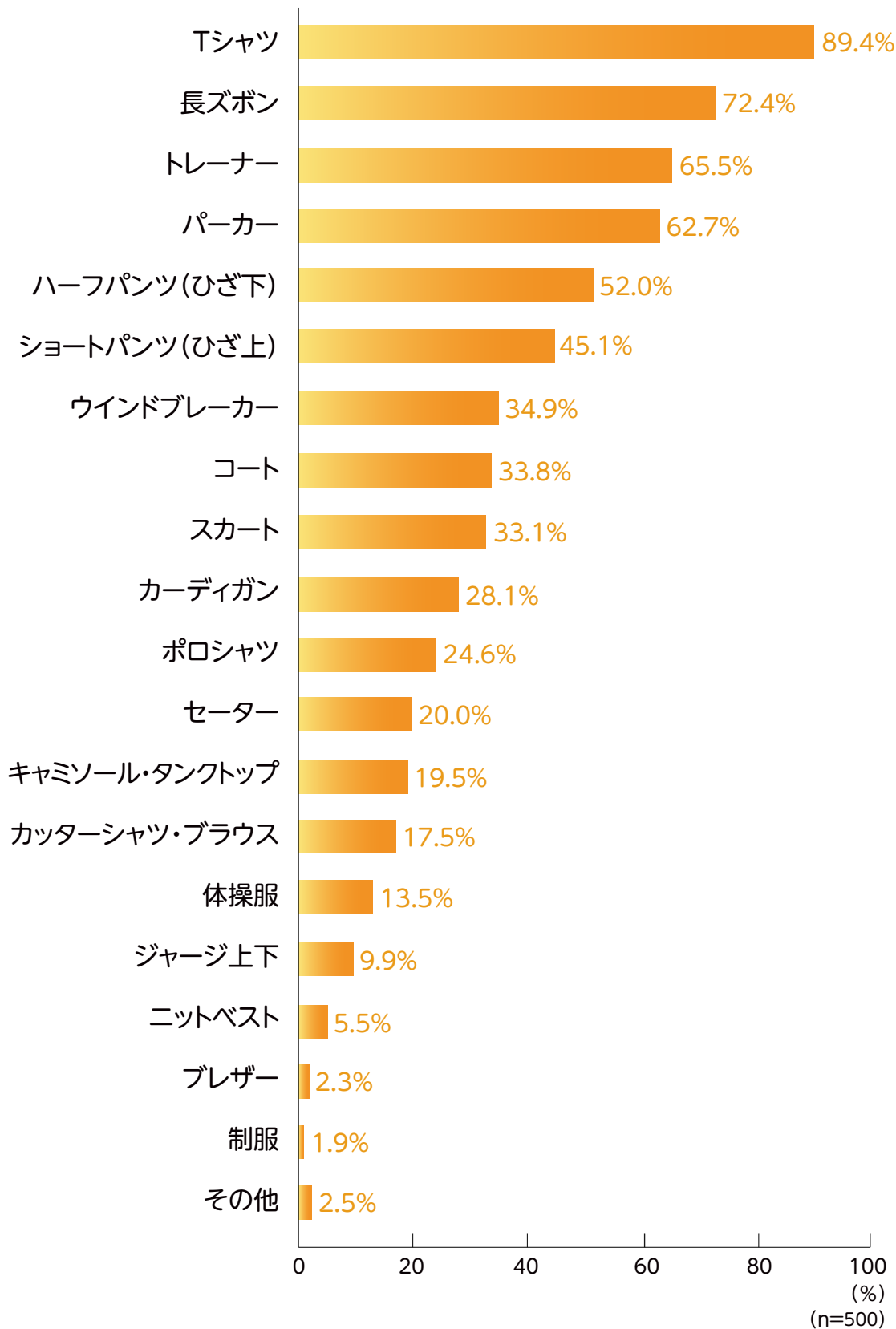
小学生の子どもを持つ親を対象に聞いた小学校の制服の有無は、「ある」(16.7%)、「ない」(83.3%)という状況となり、制服のない小学校に通っている子どものほうが多いという結果になりました。



【図1】 お子様の通う小学校には、制服はありますか？（単数回答）

Q 2. 制服のない小学校の服装

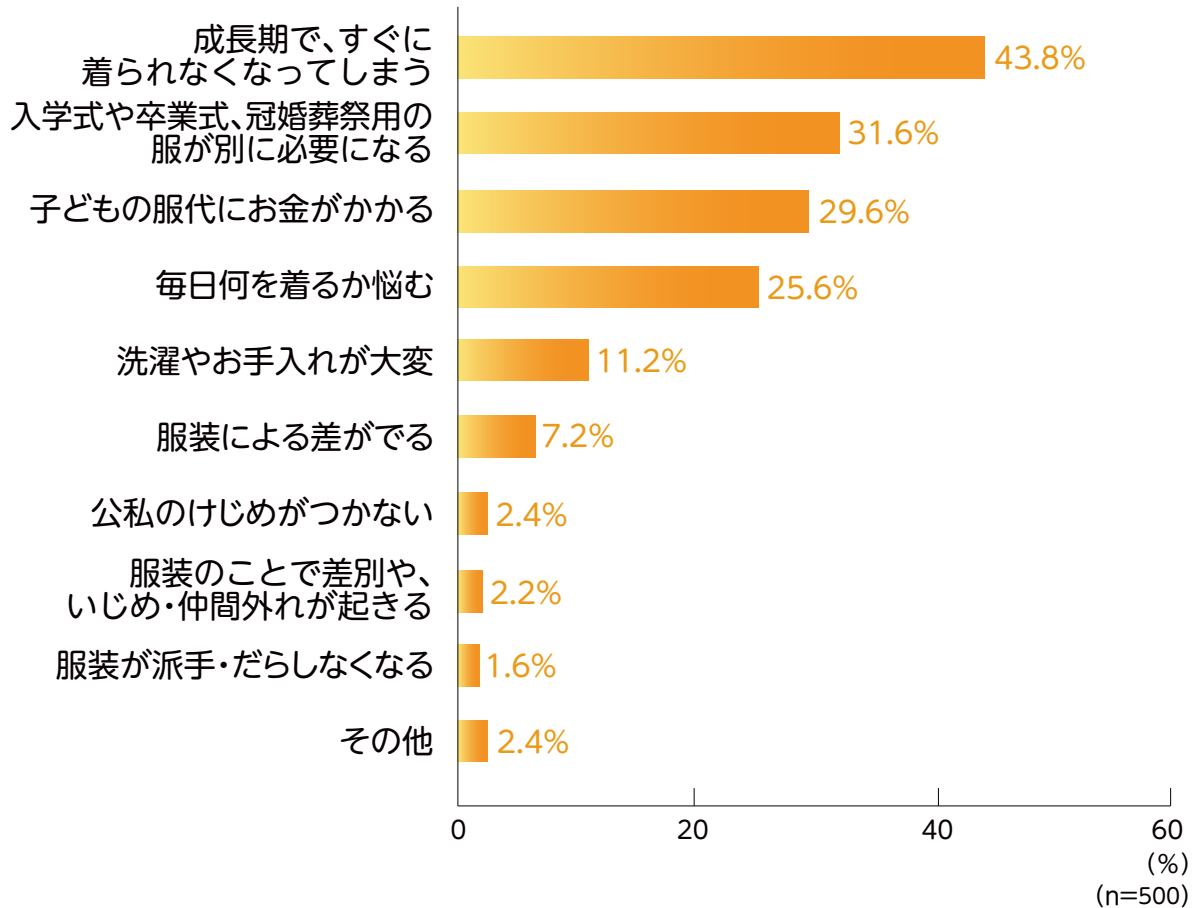
制服のない小学校に通う子どもが着用している『私服』のアイテムは、「Tシャツ」(89.4%)が最も多く、次に、「長ズボン」(72.4%)、「トレーナー」(65.5%)、「パーカー」(62.7%)、「ハーフパンツ(ひざ下)」(45.1%)など、カジュアルな服装が多くなりました。



【図2】 制服のないお子様は、小学校にどのような服装で通学していますか？
1年間を通じてお子様が着用しているアイテムをすべてお答えください。(複数回答)

Q 3. 小学校が『私服』で困っている内容

『私服』で困っていることは、「成長期で、すぐに着られなくなってしまう」(43.8%)、「入学式や卒業式、冠婚葬祭用の服が別に必要になる」(31.6%)、「子どもの服代にお金がかかる」(29.6%)といった費用に関することが多くあげられました。また、服装が自由であることが起因して、「服装による差がでる」(7.2%)、「服装のことで差別や、いじめ・仲間外れが起きる」(2.2%)など、子どもの間でのトラブルを心配する声も聞かれました。



【図3】 小学校が「私服」で困っていることは、どのようなことですか？（複数回答）

まとめ

入学説明会などで、入学前に用意するものや校則などの一通りの説明はありますが、制服のない小学校へ通うとなると、どのような服を子どもに着せたら良いか、服装選びに迷っている保護者の方も多いようです。

今回、小学生の子どもを持つ親を対象に小学校の制服の有無を調査したところ、制服がない小学校に通う子どもは8割以上であるという結果となり、『私服』の服装は、「Tシャツ」(89.4%)、「長ズボン」(72.4%)、「トレーナー」(65.5%)、「パーカー」(62.7%)、「ハーフパンツ(ひざ下)」(45.1%)など、カジュアルな服装で通学していることがわかりました。『私服』で困っている内容は、「成長期で、すぐに着られなくなってしまう」(43.8%)、「入学式や卒業式、冠婚葬祭用の服が別に必要になる」(31.6%)、「子どもの服代にお金がかかる」(29.6%)、「毎日何を着るか悩む」(25.6%)、「洗濯やお手入れが大変」(11.2%)、「服装による差がでる」(7.2%)など、子どもが学校に着て行く服を複数買い揃えたり、買い替えしたりしなければならないという経済的な負担や、毎日の服選び、洗濯やお手入れが大変といった利便性の悪さや、家庭環境による服装の格差が生じることで、いじめや仲間外れが起きることを危惧する声もありました。

『私服』は、どのような服を着ても自由ということですが、小学校には適した服と適さない服があるのも事実です。小学校で着る服は、長い間子どもが着用することを考えて丈夫で動きやすく着心地の良いものや、体育の授業で着替えがあるので着脱のしやすいもの、給食を食べたり休み時間に校庭で遊んだりするので汚れが目立たないもの(汚れが落ちやすいもの)などを選ぶことも、小学校では服装選びの指標になります。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

カンコーホームルーム

検索

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>